



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/290

即時解禁

2010年7月13日

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事による 韓国大田市のアジア 21 ハイレベル会議閉会の辞

国際通貨基金 (IMF) のドミニク・ストロスカーン専務理事は本日、韓国・大田市において 2010 年 7 月 12、13 日の両日にわたり開催された、アジア 21 ハイレベル会議が閉会するにあたり、以下を閉会の辞とした。

アジアが世界経済において先導的な役割を担う時代が到来した - 私はこの会議の冒頭で皆様にこのようにお話ししましたが、この 2 日間に渡る話し合いを通し、このことが再確認されたように思います。ここに、韓国政府に敬意を表するとともに、韓国政府のパートナーシップとご支援に IMF 一同深く御礼申し上げます。特に、共同ホストである、尹増鉉企画財政部長官、金仲秀韓国銀行総裁、及び玄オ錫韓国開発研究院 (KDI) 院長に感謝いたします。また、アジアそして世界から、大田市にいられた学生や政府高官をはじめとする皆さまに御礼を申し上げるとともに、大田市の市民の皆様様の暖かい心と手厚い歓待に感謝いたします。

この会議の主な結論として、以下の点を挙げたいと思います。

- **アジアは、世界金融危機の際に優れた耐性を示し、経済の原動力として浮上するとともに世界経済の回復を先導しています。他の地域への重要な教訓が示されました。アジアが危機の大きな打撃を回避することができた背景には、韓国の例が示す通り、特に過去 10 年で大々的に行なわれた改革がありました。**
- **将来を見据えアジアは、輸出における強さを越えた、投資と消費を基盤とした「成長の第二のエンジン」の構築を開始しています。特に欧州や米国といったアジアの主要な貿易相手の一部が低成長率の時代に突入していることから、アジアの内需を中期的に育成することが一層重要となっています。**

- アジアの低所得国は、次世代の新興市場になる可能性を秘めています。貧困及び不平等の点において大きな課題は残されていますが、これら低所得国の多くは、持続的成長及び開発を促進する経済、金融そして社会政策の策定を行なっています。
- アジアが危機に持ちこたえた背景には、拡大を続けるアジアの地域レベルでの連携及び統合がありました。アジアは、現在進められている域内の政策連携の強化から利益を得ることでしょう。
- アジアは、アジア 6 カ国が参加し韓国が議長をつとめている G20 などを通し、世界レベルでの経済政策の構築において、ますます重要な役割を果たしています。世界におけるアジア経済の影響力が引き続き増すに従い、国際金融アーキテクチャーにおけるアジアの代表権も拡大されなければなりません。

また会議の冒頭で、私はこの度の会議がアジアと IMF の新たな関係の礎となることを期待すると申し上げました。我々は、IMF がアジア危機から学んだ教訓、そしてそれにより IMF の活動がどのように変化したかについて、率直に話をすることができました。また、IMF がアジアのより良いパートナーとなるためにはどうしたらよいか、真剣に話し合いを行ないました。このように話し合いを行なったことは、一連の実現可能な今後の活動の策定に活かされておりますが、これらにより、今後のアジアと IMF の関係はより深まると確信しています。これらの「IMF 大田市決議」の代表的なものとして、以下の項目を挙げたいと思います。

- **IMF の分析がより有益となりアジア加盟国に役立つよう取り組みを進めます。**
これには、我々の早期警戒システムの強化や、国境を越えた波及問題の一層の重視、マクロ・金融の連関をはじめとする分野横断的なテーマに関する我々の研究を増やすといったことが考えられます。我々はサーベイランス（政策監視）のアプローチを公平なものとするべく尽力します。これにより IMF の政策助言の有効性が高まるでしょう。さらに我々は、先日の香港での世界経済見通し（WEO）及び国際金融安定性報告書（GFSR）アップデートの発表のようなアウトリーチ活動を増やし、より多くのアジアの皆さんに貢献したいと考えています。
- 我々は、国際金融のセーフティネットの強化に努めます。そしてこの過程において、この件に関し G20 でリーダーシップを発揮している韓国を通じ、アジアと密接に協力しています。我々は、アジアの声に耳を傾けることで、ア

アジアのニーズがセーフティネットの構築において確実に一層反映されるよう努めます。また我々は、これまで以上に適した危機防止制度や、複数国を対象としたアプローチをはじめとした、危機の防止やシステム的なショックの軽減に有効な、我々のツールの強化に向けた複数の施策を検証しています。これらのツールは、ショックを防ぐための各国の取り組みを効果的に補うものになると期待されますが、同時に地域レベルの融資メカニズムとの連携も考えられるかもしれません。

- **我々は、世界経済におけるアジアの役割と発言権の一層の強化を支援します。** 第一に、これは IMF におけるアジアの議決権の拡大を実現した、2008 年の一連の改革を拡大することで達成することが出来ます。我々は 11 月にソウルで開催される G20 サミットを期限として、第二段階に取り組んでいます。さらに IMF は、アジアの地域組織との連携を強化します。その第一段階として、我々が 2010 年 10 月に開催するこの件に関する重要な会議に、アジアの代表団が参加することになるでしょう。

私は会議の間、我々の関係は相互的なものだ重ねて申し上げました。私の望みは、やがて IMF がアジアの利益を真に代表する組織、「第二のホーム」だと皆様に認識していただくことにあります。この会議がこの点において大きな一歩となると確信しております。大田市で二日に渡ったこの会議は、このように素晴らしい結果となりましたが、お力添えをくださった皆様に再び御礼を申し上げます。ありがとうございました。